

令和7年度福祉施設・事業所防災セミナー 開催要項

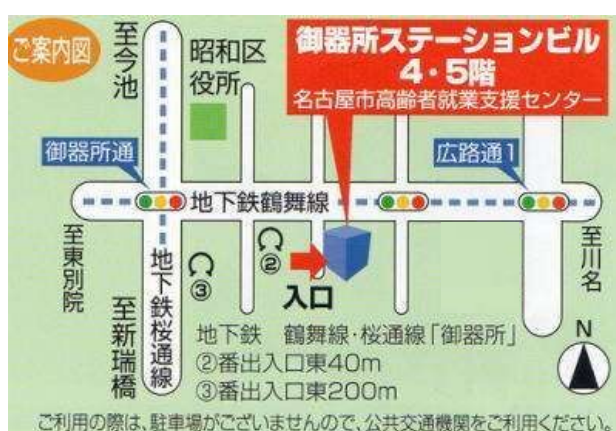
－能登半島地震の教訓から学ぶ2－

- 1 趣旨 2024年元旦に発生した能登半島地震。事業所を福祉避難所として運用し、ストレスから避難所で叫ぶなどしていた障害者を抱える家族などから「本当に助かる」と喜ばれた事業所がありました。

今回のセミナーでは珠洲市の障害福祉サービス多機能型事業所の施設長を講師にお招きし、被災状況や福祉避難所の立ち上げから終息、事業再開まで、どんな困難があり対応してきたのか。1年半が過ぎ、地域や事業所や利用者がどんな状況に置かれているかを報告いただきます。

被災地の事業所の苦勞と教訓から私たちの備えるべき課題を検証します。

- 2 日時 令和7年10月30日(木) 13:00～16:00
- 3 場所 名古屋市高齢者就業支援センター 5階大会議室
名古屋市昭和区御器所通 3-12-1 御器所ステーションビル 電話 052-842-4691



- 公共交通機関をご利用下さい。
- 地下鉄「御器所」駅下車
(鶴舞線) 2番出口より東へ40m
(桜通線) 3番出口より東へ200m
- 建物西側入口からエレベータで5階にお上がりください。

- 4 参加費 無料
- 5 定員 100名(応募多数の場合、事務局からご連絡することがあります)
- 6 参加対象 名古屋市内の福祉施設・福祉サービス事業所職員など
- 7 プログラム

時間	内容
13:00～13:05	開会挨拶・趣旨説明
13:05～14:35 (質疑応答を含む)	講演 「能登半島地震を経験して ～福祉避難所開設と事業再開、奥能登の地域と施設の現況～」 講師 坂井千鶴子氏(社会福祉法人鳥越福祉会 障がい福祉サービス多機能型事業所 さざなみ施設長) 1954年生まれ、石川県珠洲市出身。 のと里山海道穴水インターチェンジ付近を珠洲市の自宅に向かって走行中に被災。ハンドルが 取られるほど激しい揺れに襲われ、周辺の道が崩落。前にも後ろにも進めず車中泊した。 施設は正月休みで無人だったが、建物は入り口がゆがんで基礎部分に亀裂が入り、後に半壊と 判定された。家が全壊した近隣住民や利用者から「避難所として利用させてほしい」との声が 寄せられ、電気が復旧した1月7日から避難者を受け入れた。
14:35～14:40	休憩・舞台転換
14:40～15:50	グループワーク「災害時要配慮者の安否確認と支援について」 南海トラフ巨大地震の発生を想定して、起こりうる課題を時系列で提示し、福祉サービス事業所として取り組むべき課題を検証します。 利用者の安全確保、発災直後から避難を求めてやってくる要配慮者と地域住民の受入と制限、支援のポイントを検討します。
15:50～16:00	閉会挨拶(名古屋市からのお知らせ)

- 8 主催 名古屋市健康福祉局監査課

お問い合わせ 防災セミナー事務局＝社会福祉法人AJU自立の家 わだちコンピュータハウス
電話：052-841-9888 FAX：052-841-1015 メール：bousai@aju-cil.com

10月30日福祉施設・事業所防災セミナー 参加申込書



<https://forms.gle/cw6opV8ub1QMxPzi7>

←申込フォーム、ファックスまたはメールにてお申し込み下さい。

団体名		施設種別	入所系・通所系・訪問系
			身体・知的・精神・高齢者
			宿泊施設・その他()
所在地			
TEL		FAX	
Eメール			
参加者氏名			
	所属/役職	ふりがな 氏名	
1			
2			
講師に聞きたいこと			
備考(手話・要約筆記等の情報保障について、その他ご要望)			
車いす使用者 名			

申し込み締め切り **9月30日(火)**

お申込、お問い合わせ先



社会福祉法人AJU自立の家わだちコンピュータハウス

防災企画グループ 担当 大島・水谷

FAX : **052-841-1015** または E-mail : bousai@aju-cil.com